

# くうしゅう がくどうそかい 大阪の空襲と学童疎開

日本が参戦する最後の戦争となった太平洋戦争。米国を中心とする連合国に対し、昭和16年12月から昭和20年8月15日の終戦まで3年9ヶ月におよぶ、長い戦争でした。全国各地で繰り広げられる空襲、沖縄本土での地上戦、広島・長崎への原子爆弾投下など、非戦闘員である民間にも多くの犠牲が出ました。

## しょうど 焦土と化した大阪のまち

昭和20年には、日本各地で空襲が本格化。大阪府も例外ではなく、昭和19年12月から昭和20年8月まで、米軍は約50回にわたりB29による爆撃を行いました。中でも100機以上のB29が飛来した「大阪大空襲」は被害も大きく、これらの空襲で一般市民1万人以上が死亡したと言われています。昭和20年3月13日深夜から翌日未明にかけて最初の大阪大空襲が行なわれ、その後、6月1日、6月7日、6月15日、6月26日、7月10日、7月24日、8月14日と終戦の前日まで続きました。



「道頓堀界隈の空襲被害」 提供:なにわ堀江1500  
堺筋周防町交差点付近から戎橋方面を見る。一面の瓦礫である。

## じんたい ひがい 甚大な被害が出た第1次大阪大空襲

3月13日から14日にかけて行われた第1次大阪大空襲の被害は最も甚大でした。空襲警報とともに灯火管制\*1がしかれ、暗闇に沈む大阪のまちに、274機ものB29が飛来し1,733トンの焼夷弾\*2が投下されました。木造家屋が密集し、道路も狭く防火のための空き地もなかった大阪のまちは火の海となり、奈良や京都からはすさまじい炎が夕焼けのように見えたそうです。この空襲では死者数約4,000人、被災者数約50万人にも上る被害が出ました。



「心斎橋より難波方面の空襲被害」 提供:なにわ堀江1500  
後方にある難波高島屋を見通すことができる。

## くうしゅう 無念の涙 第8次大阪大空襲

8月14日、大日本帝国陸軍の兵器工場である大阪砲兵工廠などを攻撃対象とした空爆が行われました。この空襲で大阪砲兵工廠はほとんどの施設が破壊され壊滅状態に。工廠内で多くの犠牲者が出ただけでなく、近接する国鉄(現JR)京橋駅にも1トン爆弾が直撃し、大惨事を引き起こしました。

あと1日で終戦を迎えることも知らず、大勢の方が亡くなりました。犠牲となった方の無念と、残されたご家族のやりきれない思いは今も消えることがありません。



「爆撃により炎上する大阪砲兵工廠」  
提供:ピースおおさか

## くうしゅう 子どもたちを空襲から守る

都市部への空襲が軍事関連施設からしだいに民間人を含む無差別攻撃に変わってきた中で、子どもたちを空襲から守るために「学童疎開」が行われるようになりました。学童疎開とは、戦火を避けるために大都市の児童を地方都市や農村に移住させることです。大阪では昭和19年8月ごろから学校や学年ごとに疎開する「集団疎開」が始まりました。空襲から子どもたちを守ることが目的ではありますが、小学生の子どもたちが家族と別れ、食糧不足の中で送る集団生活には、大変な苦勞がありました。



「学童集団疎開の食事風景 常盤小学校(阿倍野区)」  
提供:大阪公文書館

## 太平洋戦争の始まりから終戦までの主な出来事

昭和16年	昭和17年	昭和18年	昭和19年	昭和20年
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本軍がハワイ真珠湾にある米海軍基地を攻撃、太平洋戦争が開戦</li> <li>アメリカ映画の上映を禁止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩を皮切りに米・しょうゆなどを、国が管理して配分する配給制に</li> <li>米陸軍機による日本本土初空襲</li> <li>ミッドウェー海戦で日本海軍大敗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>兵力不足を補うため、大学生を徴兵し戦地へ赴かせる学徒出陣の開始</li> <li>文部省、学童の縁故疎開促進を発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働力不足を補うため、女性を強制的に工場などでの労働に従事させる女子挺身隊の結成</li> <li>学童集団疎開の開始</li> <li>神風特別攻撃隊などの特別攻撃隊*3を編成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神地方への本格的な空襲開始</li> <li>米軍、沖縄本島に上陸を開始</li> <li>B29、広島・長崎に原子爆弾を投下</li> <li>日本がポツダム宣言*4を受諾し、戦争終結</li> </ul>

### あの日風景

第1次大阪大空襲では、大阪市営地下鉄が市民の避難に一役買いました。当時は梅田駅-天王寺駅間を結ぶ御堂筋線と大国町駅-花園町駅間を結ぶ四つ橋線が運行しており、政府は戦略的な観点から空襲時に地下鉄に避難することを禁じていましたが、未曾有の事態となった大空襲の夜、地下鉄のいくつかの駅は開放され、人々を救援する電車も運行され、大勢の命が救われました。

### 用語解説

- \*1: 灯火管制…戦時において、夜間に敵機の空襲目標となることを防ぐため、電灯をカバーで覆うなどして、光がもれないようにすること。
- \*2: 焼夷弾…建物などを焼き払うことを目的に、発火性のある薬剤が詰め込まれた爆弾。
- \*3: 特別攻撃隊…生還の見込みが通常よりも低い、もしくは戦死を前提とする攻撃を行う戦術部隊。
- \*4: ポツダム宣言…連合国側から発せられた、日本に対する降伏および戦後処理の方針を示した全13か条から成る宣言。